

地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	たかはし あきこ		
氏名	高橋 明子		
所属・役職	東京都武蔵野市 CIO 補佐官 総務省 地域力創造アドバイザー 亜細亜大学都市創造学部 非常勤講師 アクション・リサーチ 代表 (株)エンパブリック コーディネーター		
活動拠点	東京都を中心に活動中。		
略歴	<p>1992年(株)三和総合研究所入社。1995-96年、大分県のハイパーネットワーク社会研究所、ニューコア事務局に出向し、創生期の地域情報化関連業務に従事。復職後、数多くの自治体情報化計画策定に従事。以来、一貫して地域づくり、地域情報化をフィールドとしている。</p> <p>2007年より総務省地域情報化アドバイザーとして、中山間地域を含む各地の地域メディアづくりの実践を推進。2015年にそれまでの活動が評価され、平成27年「情報通信月間」関東総合通信局長表彰(個人)を受賞。</p> <p>2018年よりエンパブリックに参画し、市民参画による地域づくりに関与。</p> <p>地元の東京都杉並区では、2020年度より教育委員会が主催する「すぎなみ大人塾地域コース」の学びの案内人(企画・運営・とりまとめ)などを務める。また地域において、身近な暮らしや地域のことを住民自身が発信する「住民ディレクター活動」を展開。</p> <p>2017年度より亜細亜大学都市創造学部において「情報社会学」「NPO・NGO論」を担当。</p> <p>2022年度より、東京都武蔵野市 CIO 補佐官を務める。</p>		
地域情報化の専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> 自治体 DX 推進 映像メディアを活用した地域づくりの実践 地域情報化に関するコンサルティング 		
専門分野	計画策定支援(地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等) 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 人材(外部人材活用) デジタルデバイド対策		
自治体向けメッセージ	1990年代半ば以降、一貫して地域情報化の推進に取り組んできました。デジタル庁が創設され、DXの推進が社会全体で目指される今、インターネット実用化の創世期のワクワクするような可能性を感じています。ICTを道具として、市民、行政、団体や企業が、生活をよりよくし、チャンアスを拡大していくお手伝いができればと考えています。		
関連サイト			
地域情報化に関する実績	これまでの経験業	○コンサルティング(リサーチ) <ul style="list-style-type: none"> 多数の県、市町村の地域情報化計画を責任者として策定 2017年より大学にて「情報社会学」講義担当。 	

<p>務・研究活動</p>	<p>○人材育成・活用/ソーシャルメディアを活用した課題解決(アクション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都杉並区/群馬県上野村/沖縄県伊江村 ・ほか講演やワークショップ運営多数。 <p>○主な著作</p> <p>「地域情報化は移植できるのか」 (国領二郎編 「元気村はこう創る」 第4章 日本経済新聞出版社、2007年)</p> <p>「住民の自律と協働を促す映像制作プラットフォーム」 (2006年度、慶應義塾大学 大学院 修士論文、2006年)</p> <p>「地域情報化のコネクタ」 (国領二郎・公文俊平/編著「地域情報化 認識と設計」 第10章 NTT出版、2006年)</p> <p>等</p>
<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p>	<p>○地域づくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉並区教育委員会生涯学習推進課社会教育センター 「すぎなみ大人塾地域コース」学習支援者(2020年度～) ・熱中小学校 社会科教員(2016年度～) ・地域 WiMAX 利活用による住民ディレクターの養成事業(沖縄県伊江村) ・地域力創造のための起業者定住促進モデル事業 -自治体ケーブルテレビを活用した地域づくり中核人材の養成- (群馬県上野村) ・千客万来! 商店主の番組制作事業(東京都杉並区) <p>／他多数</p> <p>○委員等</p> <p>武蔵野市 特定非営利活動法人補助金審査会 委員(2021年度)</p> <p>千葉県白井市地域情報発信計画策定 委員長(2018～2020年度)</p> <p>財団法人マルチメディア振興センター クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定審査委員会委員(2008年度～2013年)</p>